

GRADUATE INTERVIEWS

様々な海外での学会発表で
味わった緊張感・達成感は
素晴らしい経験でした。

大学時代から化学農業に替わる新しい微生物農業の研究・創出をしたいという思いが強く、現在では産業技術総合研究所という国立研究機関の研究者として、有用微生物を利用した環境調和型の生物防除技術の創出を目指して研究業務を行っています。0から1を生み出す基礎研究に携わること、産業と密接に関連する社会問題解決を目的とする職場の研究環境の中で自身の研究成果を社会に還元できることが大きなやりがいにつながっています。農芸化学科は農業、食料、医療、環境など幅広い分野を学べるのが魅力で、講義で学んだ知識や大学院時代の修論・博論発表会での経験が、現在の職場で専門外の研究について議論する際に大いに役立っています。また、学会発表でベトナムやマレーシア、アメリカなど海外に行く機会に恵まれたことも素晴らしい経験でした。学会発表の緊張感や達成感はただの旅では決して味わえません。ぜひ、未来の後輩たちにも体験して欲しいと思います。



国立研究開発法人
産業技術総合研究所
(産総研)勤務

富田 駿さん

大学院 農芸化学専攻 博士後期課程
応用微生物学研究室
2021年修了